

保育計画成果報告書

法人名	社会福祉法人 銀杏の会
施設名	多賀城すみれ保育園
報告者（役職）	鶴島恵理（園長）
住所・連絡先	宮城県多賀城市新田字北1-3
	☎ 022-368-4302 E-mail t_eri@t-sumire.jp

○タイトル（保育計画）

保育環境未来形

○主な助成備品

配膳台、円形ラグ、製作シェルフ、プリオ、変身セット、平均台など

1. 実施した保育計画策定の目的

保育士が「教えてあげる」「やってあげる」という考え方から、子ども自ら環境に働きかけて行動するという子どもの主体的な活動を保証し、それを援助する。

主体的な活動を保証することで、子どもの自尊感情を育て他者との関わりを喜び、社会に貢献できる子どもに育てる。

2. 具体的な実施内容

①円形ラグ 自分の好きなマークに座ることでみんなの顔を見て話を聞けるようにした。



【写真1】好きなマークの場所に座ってお集まり

②配膳台 配膳を子どもたちで行うようにした。



【写真2】自分たちで作ったジャムを塗って渡している

③平均台 一人ひとりの発達に合わせて、無理なく渡れるようにした。



【写真3】慣れないうちはカニ歩きで練習



【写真4】上手になってくるとジャンプもできるようになりました

遊びのコーナーでは、④変身セット、⑤ブリオ、⑥製作シェルフをそろえ、自分の好きな遊びを選択することで集中して遊びこめるようにした。

④変身セット



【写真5】役になりきって変身！ ボタンも一人で頑張れるようになりました。

⑤ブリオ（レールセット）



【写真6】

3歳児と5歳児が遊んでいるところに
2歳児が混ざってきて、真似をして遊び
始めました

⑥製作シェルフ



【写真7】製作シェルフから好きな画材を選んできて、
3, 4, 5歳児がお絵かきを楽しんでいます。
保育士も加わり会話が弾んでいます

3. その成果と評価

- ①円形ラグ 集中して話を聞くことで、次の活動がスムーズに行えるようになった。
- ②配膳台 「いっぱい」「少し」がわかるようになり、相手を思いやって配膳できるようになった。自分で選択することで完食する子が増え、自信につながった。
- ③平均台 それぞれが自分のレベルを知り、怖がっていた子も自信を持って渡れた。
- ④変身セット ⑤ブリオ ⑥製作シェルフ
自分でやりたいことを選択することで、集中して遊び込める子が増え、異年齢での関わりが増えた。

4. 今後の課題と展望

子どもが主体的に活動を展開するために、生活の様々な場面で「選択する」事が出来るような環境を保育士がつくって行く必要があると感じた。今回助成を受けたおかげでより明確に課題が見えたので、今後も、子どもの発達に合わせた環境作りをしていきたい。

以上